



第52回 懸賞論文募集「論文の部」

サブタイトル

『***』

赤文字の部分が、記入箇所です
サブタイトルと
要約文記入箇所に記入して下さい

要約

一般社団法人 日本広告業協会(理事長 高嶋達佳・㈱電通 会長)主催による第43回「懸賞論文」は、2月27日、28日の本協会懸賞論文委員会の最終審査会において「論文」および「私の言いたいこと <一般部門> <新人部門>」の入賞・入選作品を選考し、3月12日開催の第277回理事会にて承認、決定した。

一般社団法人 日本広告業協会(理事長 高嶋達佳・㈱電通 会長)主催による第43回「懸賞論文」は、2月27日、28日の本協会懸賞論文委員会の最終審査会において「論文」および「私の言いたいこと <一般部門> <新人部門>」の入賞・入選作品を選考し、3月12日開催の第277回理事会にて承認、決定した。

赤字が要約文の記入部分です
最初に入っていた「この部分に記入して下さい。今書いてある文章は消してください」は消し、論文の要約文を書き始めてください。

同賞は、協会会員社内における実務に携わっている方への奨励を趣旨で昭和46年に第1回の募集が開始された。

要約文は、1ページ以内です
要約文は、受賞時には本文とあわせて発表されます。

応募は、「論文」の部「明日の広告ビジネス」に58編、「私の言いたいこと<一般部門><新人部門>」の部に375編、計433編あった。厳正なる審査の結果、論文から金賞・銀賞・銅賞の3つが選出され、「私の言いたいこと」からは入選9作品が選出された。



一般社団法人 日本広告業協会
 「懸賞論文」は、2月27日、28日
 および「私の言いたいこと」
 月12日開催の第277回理事会

同賞は、協会会員社内における
 趣旨で昭和46年に第1回の募集

応募は、「論文」の部「明日の広告」
 <新人部門>の部に375編、

銀賞・銅賞の3つが選出され、「私の言いたいこと」からは入選9作品が選出された。

最初に入っている「本文ここから書き始めてください」は消し、
 はじめの行から論文を始めてください。

※赤字(左文章の一般社団法人 日本広告業協会…の部分です)が本文部分です。

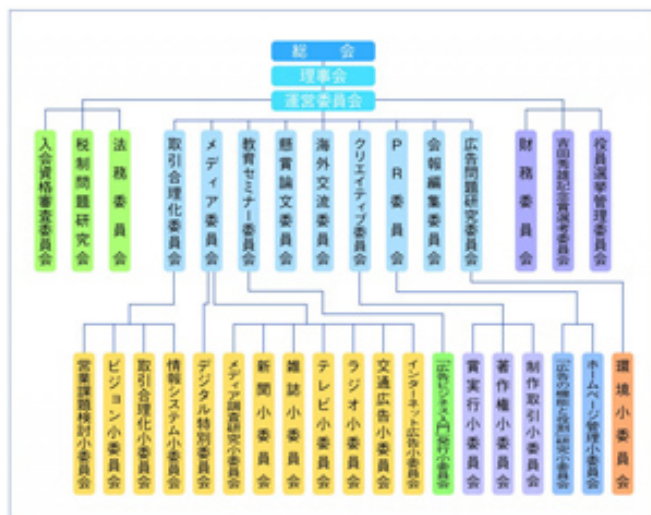
本文部分は10枚まで増やして構いません

図などがあれば、適宜挿入してください。ただし、図なども含めた

本文総数が10枚を超えないようにしてください。

金賞に選出された、和波弘樹氏(株博報堂)の作品「～富のダイバーシティと広告ビジネスの新しいビジョン～」には、審査員より「広告業界としてこれからの意志を提案した、評価できる作品。思考実験というキーワードで非常によくまとまっていて、テーマに答えている」論文として高い評価が集まった。

なお、表彰式は、5月30日に開催される平成26年度定時総会記念式典にて行う。



(図1)

また、同時にJAAAレポート臨時増刊号『第43回懸賞論文 入賞・入選作品集』を発行する。



一般社団法人 日本広告業協会(理事長 高嶋達佳・㈱電通 会長)主催による第43回「懸賞論文」は、2月27日、28日の本協会懸賞論文委員会の最終審査会において「論文」および「私の言いたいこと <一般部門> <新人部門>」の入賞・入選作品を選考し、3月12日開催の第277回理事会にて承認、決定した。

同賞は、協会会員社内における実務に根ざした主張や提言を広告業界に反映させるという趣旨で昭和46年に第1回の募集が開始され、今年度で43回を数える。

応募は、「論文」の部「明日の広告ビジネス」に58編、「私の言いたいこと<一般部門><新人部門>」の部に375編、計433編あった。厳正なる審査の結果、論文から金賞・銀賞・銅賞の3つが選出され、「私の言いたいこと」からは入選9作品が選出された。

金賞に選出された、和波弘樹氏(㈱博報堂)の作品「～富のダイバーシティと広告ビジネスの新しいビジョン～」には、審査員より「広告業界としてこれからの意志を提案した、評価できる作品。思考実験というキーワードで非常によくまとまっていて、テーマに答えている」論文として高い評価が集まった。

なお、表彰式は、5月30日に開催される平成26年度定時総会記念式典にて行う。

また、同時にJAAAレポート臨時増刊号『第43回懸賞論文 入賞・入選作品集』を発行する。

・
・
・

本文部分は10枚まで増やして構いません



引用ガイドライン 日本広告業協会 懸賞論文委員会 【平成25年4月23日】

- 参考文献一覧の表記方法(ニュータイプ引用表記)
(注:ニュータイプ引用表記は、著者名の後に出版

参考文献・引用文献があれば、
このページを参考にして、記入して下さい
参考文献などない場合は、このページ自体
を削除してしまって構いません

(1) 単行本

著者名(訳者名)(出版年),『書名』(出版社名)

*欧文の場合、書名は『 』ではなくイタリック。

小野寺健(2001),『E.M.フォースターの姿勢』(みすず書房)
海老根宏,内田能嗣編著(1999),『ジョージ・エリオットの時空』(北星堂書店)
松村昌家(他)編(1996),『新帝国の開花』(研究社出版)
デイヴィーズJ(白井義昭訳)(1998),『英国ヴィクトリア朝のキッチン』(彩流社)
ボズボームE.J.(野口建彦(他)訳)(1993),『帝国の時代1』(みすず書房)
Carroll,David,*George Eliot and the Conflict of Interpretations*(Cambridge University Press,1992).

(2) 単行本(論文集)収録の論文

著者名,「論文名」,収録書物の編集者名(出版年),『書名』(出版社名),ページ数.

*欧文の場合は論文名は「 」ではなく” ”、書名は『 』ではなくイタリック。

川北稔,「福音主義の理想と奴隷制の廃止」,松村昌家(他)編(1996),『新帝国の開花』
(研究社出版),pp.67-86.
倉持三郎(1993),「「英国」小説から世界小説へ」,20世紀英文学研究会編,『多文化時代のイギリス小説』(金星堂),p.16.
Synnott,Anthony,“Puzzling over the Senses:From Plato to Mark,”Howes,David ed.,*The Varieties of Sensory Experience*(University of Toronto Press),pp.61-76.

(3) 雑誌論文

著者名,「論文名」,『雑誌名』巻数号数(発行所,出版年),ページ数.

*欧文の場合、論文名は「 」ではなく” ”、雑誌名は『 』ではなくイタリック。



泉忠司(2000),「Catherineは誰の子か?」,『ブロンテ・スタディーズ』第3巻第4号
(日本ブロンテ協会),pp.111-119.

Arata,S.D.(1990),”The Occidental Tourist:Dracula and the Anxiety of Reverse
Colonization”,*Victorian Studies*.Vol.33 Number4(Indiana University,),pp621-645.

(4) 新聞記事

執筆者名,「記事見出し」,『新聞名』発行年月日,朝夕刊の別,ページ数.

*執筆者が不明の場合や、朝夕刊の区別のない新聞の場合は、それぞれの項目を省略する。欧文の場合、記事見出しは「 」ではなく” ”、新聞名は『 』ではなくイタリック。

和田俊,「日系作家、英文壇で高い評価」,『朝日新聞』1986.6.2.,夕刊,p.7.

Fowler,Rebecca,”RoyalWedding is over in five minutes”,*Dailyomiuri*1996.4.21.,p.13.

※雑誌記事の場合は、上記(4)を参考に記載してください。該当しない項目は省略してください。(JAAA事務局)

(5) インターネットで得た資料

サイトの運営主体,「情報タイトル」(記事の日付),(サイトのURL),情報入手日.

*記事の日付が分からない場合は省いても構わないが、情報入手日は必ず入れる。また、欧文の場合、情報タイトルは「 」ではなく” ”。

文部科学省,「生徒指導上の諸問題の現状について(概要)」,

([http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/17/09/](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/17/09/05092704.htm)

05092704.htm),2008.12.10.

TIMES ONLINE,”Bye-bye classroom”(2009.4.26.),

([http://www.timesonline.co.uk/tol/news/uk/education/](http://www.timesonline.co.uk/tol/news/uk/education/article6168260.ece)

article6168260.ece,)2009.4.29

出典:泉忠司(2009),『90分でコツがわかる!「論文&レポート」の書き方』(青春出版社),pp.218-225.

※=JAAA事務局追記 2021.6.1